

1月22日(水) 沖縄県における臓器提供に関する 16:30-17:30 家族の同意・意思について考える

オンライン開催

Zoomウェビナー

本研究は、臓器移植が人の生命に関わる重要な医療である一方で、ドナー不足により救えない命があるという課題を、沖縄の地域においていかに解決していくか、ということを経法的・政策的・心理学的観点から考察するものです。自分や家族が、臓器移植を必要とする病気になることや、臓器を提供する場面に遭遇することは、思いがけない突然のことで、想像が付き辛いかもかもしれません。

今年度は、一般市民の方に心理実験に参加していただき、臓器提供に関する家族の同意の意義を考察するための基礎的研究を行いました。その概要をご紹介しますこと等を通じて、沖縄県における臓器提供の現状について広く市民が知る機会となればと思います。

登壇者

富山 侑美 とみやまゆみ

(沖縄大学経法商学部専任講師)

成城大学法学部卒、同大学院法学研究科博士前期課程修了(修士:法学)、北海道大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学(博士:法学)、北海道大学大学院法学研究科助教を経て、現職。専門は刑法、医事法。

仲間 貴享 なかまたかゆき

(沖縄県保健医療福祉事業団 臓器移植コーディネーター)

趣味:ゴルフ、スポーツ観戦。好きなこと:飲み会。平成28年、沖縄県保健医療福祉事業団に採用。平成29年から沖縄県臓器移植コーディネーターとなり、以降県内すべての臓器提供事例に関わる。前職は、障がい者支援施設に勤務。モアイ仲間が骨髄ドナーになったことで移植医療に関心を持ち、臓器コーディネーターという聞きなれない職業にチャレンジした。

吉川 麻衣子 よしかわまいこ

(沖縄大学人文学部教授)

琉球大学法文学部卒、九州産業大学大学院国際文化研究科博士後期課程単位取得満期退学(博士:文学)。教育や医療領域での臨床経験を積み、現職。沖縄戦を生きぬいた人びとの語り合いの場を創設して20年が経過。角膜移植を受けた父親の影響で移植医療に関心を持ち、研究に参加。専門は臨床心理学。臨床心理士・公認心理師。

(司会) **島田 尚徳** しまだしょうとく

(沖縄大学経法商学部准教授)

千葉大学法経学部卒、同大学院社会科学部研究科修了(修士:総合政策)、琉球大学大学院人文社会科学部研究科博士後期課程単位取得満期退学。新聞社やシンクタンク勤務を経て、現職。専門は行政学や地方自治論、公共政策論。

研究概要

【2024年度 沖縄大学全学研究プロジェクト班】

研究名:沖縄県の臓器移植に関する法・政策・倫理—より多くの命を救うために—(1年目)

対象地域:沖縄県

研究分野:法学、行政学、倫理学

研究内容:移植でしか救命出来ない命を救うための臓器提供が十分ではない現状に鑑み、献腎移植全国1位となったことのある沖縄県での臓器提供推進の取り組みを分析し、政策提言を行うことで、よりよい医療環境の構築を目指す。

プログラム

16:30-16:35 開始・司会による研究メンバー紹介(島田)

16:35-16:50 研究の趣旨説明(富山)

16:50-17:05 心理実験の概要(吉川)

17:05-17:20 沖縄県における臓器提供の現状について(仲間)

17:20-17:30 質疑応答・終了

◆◆◆「地域研究公開講座」について◆◆◆

沖縄大学地域研究所には、本学教員及び特別研究員、その他の研究協力者で構成された研究班があります。それぞれ、地域の役に立ちたいという想いで地域研究に取り組んでいます。

本研究活動をより地域に開かれたものとしていくことを目的とし、全ての研究班が地域研究公開講座を実施しています。研究班活動の内容や対象とする課題等について、皆様に分かりやすく紹介させていただきます。今年度は全9班の地域研究公開講座を開催します。(裏面参照)

★視聴無料★ 1/20(月)までに要事前申込

申込先【Googleフォーム QRコード】

本学HPの「イベント」からもお申込みいただけます。氏名・連絡先・所属等、必要事項を入力の上送信してください。お申し込みされた方には、1/21(火)までに、申込受付メールを送信します。メールが届かない場合は、1/22日(水)14時までに沖縄大学地域研究所までお問い合わせください。

※ 講座終了後、アンケートの回答にご協力ください。
申込受付メールで 回答フォームURLをお送りします。



問い合わせ先: 沖縄大学 地域研究所
住所: 沖縄県那覇市国場405番地
沖縄大学アネックス共創館2階
窓口: 平日8:30~17:15(12:00~13:00 閉室)
Tel: 098-832-5599
Mail: chicken-staff@okinawa-u.ac.jp